

葛城中学校だより

令和3年12月10日(金)
岸和田市立葛城中学校
岸和田市土生町213-1
電話 427-5907
FAX 428-4494

○12月10日は国際連合が定めた『人権デー』です。

国際連合は、1948年(昭和23年)12月10日の第3回総会において、第2次世界大戦の反省から、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の標準として『世界人権宣言』を採択し、また、1950年(昭和25年)12月4日の第5回総会において、この12月10日を『人権デー』と定め、全ての加盟国及び機関にこの日を祝賀して人権活動を推進するための諸行事を行うように要請する決議を採択しました。

我が国では、1949年(昭和24年)から毎年、人権デーである12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日)を『人権週間』と定め、この期間中、各関係機関及び団体の協力の下、人権尊重の啓発活動を行っています。

岸和田市では12月4日にマドカホールで、「人権を考える市民の集い」が行われました。沢 知恵さんが、自身のハンセン病回復者の方々との交流を通じて感じた「自分らしく」生きることについてのお話と歌がありました。

また、人権を守る作品展が、12月3日～5日で行われ、市内の小中学校からの作品もマドカホール展示室で展示されました。毎年この人権週間に合わせて行われている行事です。

◇岸和田市人権作品展に出品作品(ポスターと標語が展示されました)

◆「人権ポスター(絵画)」作品(以下敬称略)

- 1年 一ノ瀬 沙彩 永吉 姫佳 室田 詩菜
- 2年 西川 夏葵 松山 絵里香



3年 一ノ瀬 杏月 福本 七月 松本 安寿 山中 桃菜美 和田 悠生

◆「人権標語」作品

- 1年 大畑 美月 【あいさつで 心つながる 笑顔の仲間】
- 河合 伶侑 【一呼吸 はいた言葉は 一生消せない】
- 木下 悠翔 【コロナ禍で 家族の会話が いっぱい増えた。】
- 2年 石田 虎太郎 【言葉でも 一時停止を 守りましょう】
- 植田 紗愛 【いじめたり、差別をしたりするといつか 自分に返ってくる。 相手も自分も大切に。】
- 3年 寒川 千寛 【相手の心は ガラスのように 大切に】
- 中谷 花笑 【「大丈夫」 その裏にかくれた SOS】

◆「人権作文・詩」作品

- 1年 島 敢太 「みんなの顔が半分しか見えない世界」
- 2年 久保 まりな 「IOC 難民選手団」
- 3年 高田 寿奈 「差別」

※巡回人権を守る作品展

○東岸和田市民センター 1月29日(土)～2月4日(金) 9:00～17:00
一ノ瀬 沙彩さんと一ノ瀬 杏月さんの作品が展示されます。

◎12月は引き続き『レベル1』の生活です

10月に緊急事態宣言が解除されてから、新型コロナウイルスの新規感染者が日本国中でどんどん少なくなり、近畿圏でも大阪府以外は新規感染者『0』の日が続くようになりました。『デルタ株』はどうしたのか?ということは専門家でも詳しくは説明できていません。世界中で感染拡大が収まらないというニュースが聞こえてくる中、アフリカを中心にコロナウイルスの新たな変異株『オミクロン株』が発見され、感染が広まっています。日本でも12月に入り感染が確認されました。今は【感染レベル1】で学校の教育活動を行っていますが、気を緩めることなく感染拡大予防に努めてください。

◇中学生の「税についての作文」(敬称略)

岸和田納税貯蓄組合連合会優秀賞: 松本 安寿(3年) 「税のおかげ」

○葛城中学校合唱コンクールを12月17日(金)に開催いたします。

今年は、3学年が一同に体育館に入りの開催です。13時10分開演です。保護者の皆様は学年ごとの観覧になりますが、ご来場をお待ちしています。